

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和 4 年度第 2 回入間市学校統合委員会（西武地区中学校）
開 催 日 時	令和 4 年 9 月 3 0 日（金） 午後 7 時 0 0 分開会・午後 8 時 4 5 分閉会
開 催 場 所	西武公民館 2 階 大会議室
議 長 氏 名	幡野 敏彦
出席委員(者)氏名	前川 喬、永田 知恵、大久保 俊祐、 佐藤 正利、横田 修、幡野 敏彦、 鈴木 信義、栗原 正明、山崎 嘉久、 篠塚 清治、早川 等、倉根 勝彦、 佐竹 英樹、田邊 玲、吉田 賢紀
欠席委員(者)氏名	平岡 武、宇田川 和利
説明者の職氏名	教育部副参事（学校統廃合担当）岩田 孝弘
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 委嘱状交付 2 開会 3 委員長あいさつ 4 議題 (1) 通学方法と交通安全対策について (2) 統合後の学校の名称について (3) その他 5 その他 6 閉会
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	1 5 名
配 布 資 料	次 第 西武中学校統合に係る通学路に対する課題（資料 1－1） 西武地区の通学路課題箇所位置図（資料 1－2） 西武地区の通学路課題箇所位置図拡大図範囲図（資料 1－3） 統合後の学校の名称について（資料 2）
事務局職員職氏名	教育部長 浅見 嘉之 教育部次長 佐藤 政史 教育部参事兼学校教育課長 遠藤 敏 教育総務課長 村田 雄一 教育部副参事（学校統廃合担当）岩田 孝弘 教育部副参事（教職員指導担当）金岡 広道 教育総務課主幹（学校施設担当）田中 崇晃 学校教育課主幹（学事保健担当）坂田 誠
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

- 1 委嘱状交付
浅見教育部長より3名に交付
- 2 開会
- 3 委員長あいさつ 幡野委員長
- 4 議題
 - (1) 通学方法と交通安全対策について 岩田副参事より説明
課題箇所の確認、追加箇所の確認
 - (2) 統合後の学校の名称について 岩田副参事より説明
名称についての意見聴取
 - (3) その他
- 5 その他
次回 11月17日(木) 19時からの予定
- 6 閉会

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
幡野委員長 議長 (幡野委員長)	(浅見教育部長より 3 名に委嘱状交付) 開会 令和 4 年度第 2 回入間市学校統合委員会 (西武地区中学校) の開会 (幡野委員長あいさつ) これより議長を務めさせていただきます。議事がスムーズに進行できますよう、ご協力をお願いします。 本日の出席者は 1 5 名です。平岡委員、宇田川委員より欠席の連絡をいただいています。 本日の会議録の署名は、私と名簿順 2 番の前川委員にお願いします。 本日の議題は 3 点。 1 通学方法と交通安全対策 2 統合後の学校の名称 3 その他 議題 (1) 「通学方法と交通安全対策について」とします。 内容について、事務局に説明を求めます。
岩田副参事 議長	事務局説明 只今、事務局より「通学方法と交通安全対策について」説明がありました。令和元年度から 2 年度にかけて、学校統合地区検討会議において通学の際に安全面に課題がある 3 0 箇所がまとめられています。特にこの中でも 1 0 番ベルメゾン元加治ヒルズ交差点付近と 1 3 番中橋通り (中橋～中橋北交差点)、3 0 番いちょう通り (西武中学校入口北側のカーブ) が重点課題との説明がありました。これらの改善を実施するためには、用地の取得も当然必要になります。地権者の方のご協力を得られなければならないなど、ハードルが高い課題となります。信号機の設置など警察への調査依頼が必要となるものなど、課題の解決には、短期的な解決が必要なものと、非常に大がかりな対応が必要なものがあります。市では既に検討に取

発 言 者	発 言 内 容
篠塚委員	り組んでいるとのこと。事務局の説明内容も含めてこの30箇所の課題について皆様からご意見または確認したい点がありますか。 西武小学校に4年間勤務していたので、この課題には自分なりに思うところがあります。13番の交差点については、雨が降っているときは、傘をさしているので地域の方々に危なくないように協力していただき、なんとか事故がないような形でいます。野田中学校に行くときは、分散しながら登校することは可能なので、それほど心配はしていません。西武中学校に行くときに通学路はどこを通っていくのかというと、野田地区の6区、8区の人たちは、真ん中の道路を南に駅に向かってきます。小学生もこの道を使っているので、この道を通って西武中に行く子が多くなると想像できます。7番から13番にかけてどういう状態になるのかこれから時間がありますので検討していただけると良いと思います。私も登校を指導していて、小学生が通る時間を見てみると13番を通過するのは大体8時くらいの短い時間で通りきり、その時かなり混んでいます。中学生が加わるとどういう状態になるのか、登校の時間をよく見てもらい小学生が何分ごろ通るのか、中学生が何分ごろ通るのか、混雑するならどういう風に工夫をすれば緩和することができるのか精査していただけるといいのかなと思います。 13番から7番、6番にかけての道路ですが、子供たちは西側の歩道を使っています。一般の方だとか、勤めている方は、東側の歩道を暗黙の了解のもとで使っているので、東側の道路を小学生が通るのは難しいと感じています。どういう風に一般の方が考えているのかということも7時45分から8時ぐらいの時間帯に現地を見てもらい流れを把握してもらえると参考になると思います。
岩田副参事	通学の時間帯に車でまわり、中橋北交差点の混んでいる状況は実際に見させていただきました。そういったことからこの交差点への対応は重要と思っています。中学生が加わる場合、西側は小学生でいっぱいという状況、東側は、通勤の方という状況となっています。それを踏まえた対応策

発 言 者	発 言 内 容
議長	を考えていきます。 確かに集中するとかなり混雑し、危ないと思います。子供たちが傘をさすとずらっと渋滞している感じになるので、登校時間を調整したり、工夫が必要だと思います。
前川委員	私は区長会の代表として参加させていただいています。この問題は、区長会の中で市役所の方から何回か説明を受けています。統合に関しては今までの経緯でやむをえないだろう。ただし、子供たちの安全が第一です。これを確保できないとこの会議には参加しないとの見解のもと、これに取り組んでくれることで参加しています。皆さんご承知だと思いますけど千葉県八街市の問題、非常に悲惨な事故が起きています。ここも指摘して2年間の討議の中でいろんな問題が出ていていると思います。やはり子供たちを守ってやれるのは、大人しかいません。ましてや西武地区が遅れているのは誰が見ても明白だと思います。この会が、その実現に向けて一歩踏み出して確実にそれを実行していかなければ、もうこの地区は廃れる、危ない、住めない。市長の言う「来てよし、住んでよし、働いてよし」という観念からも外れていくのではないかと思います。それと今色々見解として長期的にというような話もありますが、統合に関して国は、学校だけではなく、その周辺の道路に補助金を出すと私は聞いています。半分ぐらい出るという話も聞いています。そうなると、長期的なプランを立てて難しいと言っていたらこの道は一生直らないと思います。この会を真剣に実現ある会にしていかないと、ただ文句を言ってガス抜きで終わるのではなく、一つ一つ真剣に取り組んでいただきたいと思います。今日もここに来るときに車道は全部渋滞していました。みんな怖いから自転車は狭く危ない歩道を走っています。歩行者はそれをよけていて歩けません。本当に2年間いろんなことが出されました。皆さんお忙しい中、夜こうやって集まって、ただ提案で終わったというのでは意味がありません。そういう意味で、皆さんしっかりこの問題に取り組んでこの地域を安心して住める地域

発 言 者	発 言 内 容
岩田副参事	にしていきたいと思います。 それと市役所では国の補助金の問題を明確に調べてお答えいただきたいと思います。この統合の何年間の間で処理しなくてはいけないので、お願いします。
議長	私も自治会の会議に説明に行かせていただいているいろいろご意見をいただきました。補助金の件については、担当課と調整する中で活用できるのであれば、積極的に活用していきたいと考えています。 八街市の悲惨な事故を記憶しています。事故があってからでは遅いし、事故があってから設置する事例をよく見ますが、そうならないように事前に危ないところは把握して改善できたらと思います。
大久保委員	この話を4月にいただいて、7月の中旬ぐらいの晴れた日、朝9時、気温が30度で湿度70パーセントの日だったと思いますが、その時に仏子駅から野田中学校まで歩いてみました。とても暑くてさすがに帰りはタクシーで帰りました。今回通学路に対する課題の中に不審者や交通事故の問題を取り上げていますが、熱中症に対しても課題として取り上げてもらいたいと思いました。途中の給水所とか気分が悪くなった時に駆け込めるような場所とかを検討してもらいたいと思います。調査の時、歩いたと思いますが、往復で歩いてもらいたいです。以前スクールバスの話があったかと思いますが、スクールバスの検討はどうなっていますか。
岩田副参事	暑いということも課題になると考えます。通学に限らず熱中症対策は学校で対応を図っています。距離が長くなると危険性も高まるので、そういったことも加味して考えていきたいと思います。交通手段については、第1回で申し上げたとおり徒歩を基本と考えていますが、それ以外についてもご意見をいただいて検討させていただきたいと思います。
鈴木委員	確認ですが、拡大図の中の黒い点線が通学路ということでよろしいのですか。ここで固定されていることでしょうか。

発 言 者	発 言 内 容
岩田副参事	白黒印刷で大変見づらいのですが、この破線は、通学路ということではありません。30箇所の課題箇所を示したものとなります。
鈴木委員	7番から13番の危険度が高いと指摘がありました。通学路は決まっていらないということですか。
岩田副参事	現在は通学路となっていると思いますが、仏子駅方面へ向かっていく生徒も増えますので、ここを通学路にして良いのかということも併せて対策を考え、それでも危険ということであれば、新たな通学路を設定することも考えなければならないと考えています。
鈴木委員	西武中が令和7年度野田中に行く。野田中が西武中に行くのが11年度。野田地区の人数が圧倒的に多い。私は仏子地区ですが、西武中に行くには、拡大図を見ると野田から来た時に西武線の飯能側の踏切が1箇所、高架歩道が1箇所、池袋寄りの仏子団地の踏切が1箇所この3箇所が通る道だと思います。11年度になったときに野田地区の学生が相当集中します。電車が10分間隔ぐらいですが、踏切で子供が渋滞します。高架橋の歩道が相当傷んでいます。この3箇所しか西武中に行く道はありません。これについて何か考えているのか心配しています。
岩田副参事	線路を越える方法は3点が現状です。そういった状況も含めて課題として考えていけたらと考えています。少しでも課題を解消できればと考えていますのでご意見いただきたいと思います。
栗原委員	最近、自転車でこの周りを走ることが多く、歩いている子供の迷惑になっていることも多く、まずお詫び申し上げます。そう感じるほどどこも厳しい状況です。先ほど車でまわったとおっしゃったが、意味がないと思います。子供たちは車で通学するわけではありません。短期間でまわらなければならなかったのですが、子供たちは短期間で通学が終わるわけではありません。夏場暑い時の問題もありますが、梅雨時の視界の悪い中の

発 言 者	発 言 内 容
岩田副参事	通学もあります。すべての条件の中で、歩いてもらいたいと思います。声をかけていただければ我々も一緒に回ります。そこでここは大丈夫だという発想ではなく、ダメなところを全部洗いだして、それぞれ対策を考えないと対策とは言えません。 中橋通りだけではなく、どこも路肩が荒れています。舗装の真ん中はいいが、歩行者や自転車の通るところは大体荒れています。ひどいところは10センチの落差があり、自転車で走っていてガタンと落ちる時があります。それを避けるために歩行者の方へ自転車が寄らなければならない。両手がふさがって歩いていると、足元が見えなくてつまづく危険があることを見てもらいたいです。車で通って、ここはああだね、こうだねでは全く見えないと思います。時間はありますのでよく見ていただきたいと思います。 改善してよくなったとして、災害時の避難路はどうなのか大きな災害の時にはあらかじめ休校などになると思いますが、台風など一日前にはそういうことになると思いますが、例えば停電などどうなのか、それで道路が集中した時どうなるのか。冬だと早く暗くなりますが、水があふれてきた、さあ、安全に帰れるのかというようなことまで考えて、避難路や通学路を考えていきたいと思います。 説明がよくなかったのかもしれませんが、車でもまわりましたが、徒歩でもまわっています。道路の路面の整備について、この学校整備につきましては、まちの整備とも考えています。子供たちが歩きやすい道は高齢者も歩きやすい道だと、認識しておりますので協議してこの機会に改善できればと考えています。災害時においても学校は避難所になります。そういったことも含めてまちづくりだと考えて対応できればと考えています。
栗原委員	車が歩行者に突っ込むと考えると段差が必要で、車止めではないですが、そういったものがが必要です。歩行者が安全に歩くだけでなく、視覚障害者が歩くことを考えた時、今度は段差が危険になります。悩ましい問

発 言 者	発 言 内 容
岩田副参事	題ですが、ここで話すべきかどうかということでもありますけど、そこも考えなければいけません。段差が必要な安全対策と、安全対策にならない場合があるといことも併せて考えていただきたいと思います。 この学校整備で西武地区の交通状況がよくなることを望んでいます。子供たちのみならず、住民にも利益があると考えています。全てが完全にできるかというところがありますが、念頭に入れて考えていきたいと思っています。
山崎委員	事務局にお聞きします。令和7年度一時移転が始まるときに100パーセントということはないでしょうが、安全な経路を探していくというのがこの会議に求められていると思います。徒歩での通学が基本と言っていました。万が一、バス・電車ということを考えて、危険箇所が減る可能性もありますので、どういう通学方法で行くのか、いつまでにこの課題を解決しなければならないか、そのあたりのスケジュール感を教えていただきたいと思います。
岩田副参事	この会は任期が2年間ということがあります。その間で課題解決を図っていきたいと考えています。令和7年度野田中での一時統合になります。そこに向かって短期的にできることは進めていきたいと考えています。次に11年度に向けては、逆向きの対応を図ります。地元の方のご協力によって、今の状況は作り上げられています。それ以上の安全対策をこれから求めていかなければならないので、どこまでご理解いただいてご協力いただけるのかというところは、不透明なところはあると思いますが、これから30年40年と続く学校に通学していくことを考えて短期的にはできないまでも長期的には進めていきたいと考えています。
田邊委員	仏子小学校の学校規模をお伝えしておいた方が良いでしょう。今の1年生から6年生が関わるとしますので学年規模は40人前後とご承知いただければと思います。多くの子が野田中の方に行くと考えております。

発 言 者	発 言 内 容
岩田副参事	次に３０番の箇所についてです。現在この場所を通ることも可能ですが、地域の方のご意見もあり、この３０番のカーブは、登校時には通っていません。中道というか裏道の方を通って数十秒かかってしまいますが、より安全な方を通りたいということでこちらの方を許可しています。通学路の選び方というのも改善の方法になります。雨天時傘を差しながら月曜日は大きい荷物を持って登校するのでとても危険だなと思ったのでそういう判断をしました。 次に登下校の手段の確認ということで徒歩、路線バス、スクールバス、電車、自転車が想定されますが、自転車があるのかないかわからなくて保護者からも意見が出ると思いますのでもし決まっていたらご回答ください。 通学の方法ですが、今現在決まっておられません。他の中学校も同じだと思いますが、徒歩が基本と考えています。次に自転車を検討します。その方法で課題があるといった場合は、その次を考えるという順番と考えています。
田邊委員	路線バスになる場合、電車になる場合も想定にあったかと思いますが、その場合の交通費はどうなりますか、
岩田副参事	交通手段も決まっていない段階なので、お金はどうするのかも明確には決まっています。
早川委員	区長会ははじめ皆さんが生徒の安全を考えて意見を出していただいていることに感謝申し上げます。重点箇所ということで３０番とありますが、西武中の現状で言いますとここは通っています。とても危ないところです。ただ、１３番や１０番との比較で言うと、ここはクローズアップされるレベルが違うような気がします。８月９日に教頭とともに西武中から野田中へ３往復コースを変えて歩きました。ご指摘のとおりとても暑くて気を失うような感じでした。実際歩いてみて、気づくことがたくさんあるなと思

発 言 者	発 言 内 容
岩田副参事	いました。具体的に言うと３０番を改善できれば本当にいいなと思います が、子供たちの登校、特に野田の学区から西武中に１１年度に来るときの ことを考えると３０番は通りません。実際歩いて危ないなと思うところ は、１９番のところではないかと思います。中橋を渡って、その先歩道は なくなり、路側帯が狭くなっています。抜け道で車の通りも多い。むしろ この辺が重点地区ではないのかというのが私の感想です。事務局がどうと らえているのかお聞きします。 もう１点、第１回の統合委員会の時に資料の２０ページ、２１ページに 通学路の候補が出されています。そこを歩いてみました。このところにつ いての危険箇所がまだあるような気がします。この３０箇所だけを限定し て危険箇所とするのは危険なのではないか、と思います。通学路の危険な 箇所が多いということではいろいろな道を検討しなければならないというこ とであるならば、もう少し広げてどこが危険なのかクローズアップさせて いった方がよいのではないかと思います。この３０箇所からもう少し広げ て通学路の候補になりそうなところでどこが危険なのか具体的に明示して もらった方がよいのではないかと思いますので、ご見解をお聞きします。 皆様方からどういったところが危険なのか出していただいてありがたい と思います。前回示させていただいた想定の特設通学路案ですが、一案とい うことで出したものですので、検討の中でどこが危ないのかご意見をいただ いて、その中でも子供たちが安全に通れるところを選んでいきたいと考え ています。１９番につきましても３つの重点課題には入っていませんが、 重要であると思っています。特に西武中に通う際には、通らなければなら ない道となりますので検討していきたいと思います。
前川委員	２年間いろんな形で指摘して市からも３箇所、１９番も入れると４箇所 認識されているとのことですが、危険箇所に対して市としてあるべき姿と いうもの、それはどういう形なのかということを検討してもらいたいと思 います。そのためには、予算がどのくらいかかるのか、予算措置も考えな

発 言 者	発 言 内 容
岩田副参事	いといけません。優先順位をつけて交通量を調べて、我々を説得するような資料を示して、初年度はここ、次年度はここというように予算はこれで、ここは地主の関係でできないとか具体的に出してもらいたいと思います。2年間、ただ歩いて写真を撮って言われたとおりだといって、また同じような議論がどうどう巡りになるだけだと思います。市の方で3つ危ないということであるならば、そこを掘り下げて我々に具体的に提示するなり、これだけはやらなければならないとか順位をつけないとまた同じことだと思います。同じことばかり言われて、一般企業だったらこれはどうしたらいいんだと議論します。そのための対策はどうなんだと、ここまで金をかけられない、ここまで我慢しようとか、これで対応しようとか、PDCAでやっていくという形でこの問題を解決していかないと毎回議論になるだけだと思います。市として一番の問題は、どこなのか、予算はどのくらいかかるのか、数字で表してもらいたいと思います。 土地の買収を行う際には費用の算出を行います。どこまで出せるのかは用地交渉もありますので可能な範囲で情報は提供していきたいと考えています。
吉田委員	13番の中橋通りは皆さんの関心があるところで、毎回ここはみんな危ないと声をそろえる場所です。小学生が朝の通学時間に大渋滞します。そこに中学生が加わったらどうなるのかと話されますが、例えば、小学校の通学路をひとつ中に変えるとか、何であそこを通らなければならないのか、ということを皆さん考えてほしいなと思います。車が通るのが少ない、そういうところを通らせるとか、中橋北の交差点が危ないからどうしようということも大事ですが、あそこの道を通らないという選択も考えていいのではないかと思います。8番と10番のところ、来るときに通ってきました。ちょうど野田中学校の駅伝の練習が終わって帰るところでしたが、先生が先導してこの道を通って、なぜか左側を通っていましたが、できれば右側を通して、交通ルールを守ってほしい。この会は、市から

発 言 者	発 言 内 容
岩田副参事	与えられた情報を議論するのではなく、できれば皆さん普段住んでおられるので色々な情報をお互いに出し合って、市の言うことよりも自分たちの言うことを大事にして議論してもらいたいと思います。 色々な意見を出していただければ、選択肢も増え、幅が広がると思います。10番から8番の通り、片側のみ路側帯を表示しているところもあります。より安全な方法を示せればと思いますのでご意見をいただきたいと思います。
大久保委員	中学校の校長がいらしているので、お聞きします。今の中学生は、通学路はここと言われて守るものなののでしょうか。
早川委員	大概の子は通ってくれると信じていますが、いろんな事情で通学路からちょっと外れるかもしれないと思います。学校としては当然、安全を最優先に指導していくというのが本筋ですので繰り返し粘り強く、まずは自分の安全を守るということを継続して指導していくしかないのかなと思っています。
倉根委員	危険個所をわざわざ通るといったことはないと感じています。
倉根委員	令和7年度から野田中学校の方に移ると、遠いところで黒須中に近いところから野田中まで、原則は徒歩ということですが、片道1時間近くかかるのではないかと思います。現実的に考えて、自転車とか電車、バスの検討をしていく必要があります。
岩田副参事	徒歩を基本と考えていますが、その次には自転車、難しいといった場合は、次の手として電車、バスも検討することもあります。
吉田委員	学校統合地区検討会議では、通学方法に関して、校長の権限と聞いていましたが、聞いていると市の方で決めるという感じで動いていますが、以前の会議では、校長の権限で自転車であったり、今でも仏子の子が、電車の元加治の駅まで来て、野田中まで通っています。通学方法は、市が決め

発 言 者	発 言 内 容
岩田副参事	るのですか、校長が決めるのですか。 通学方法は、校長の権限となります。ただし、今回の統合に関しては、すべての地区に関わってきますので教育委員会としても考えを持たないといけないと考えています。最終的には、校長の了解を得て決まるものと考えています。
永田委員	仏子駅から野田中まで歩いてみました。前に電車やバスを使ってもいいように聞いていましたが、電車のことも考えて帰りは野田中から元加治駅まで歩きました。普通に歩くと大人の足で手ぶらで歩いて30分かかりました。子供たちが重い荷物を持って歩くと40分以上はかかると思います。おしゃべりしながらならもっとかかります。帰りはへとへとでペースダウンしました。さわやかな天候で歩きましたが、夏だったら体調を悪くします。家に帰って中2の娘に話したところ「不登校になるな」と言っていました。そういった理由で、学校に行かなくなる子が出たら困ります。電車で行く場合も元加治から野田中まですごく危ないなと思いました。8番とか10番、歩道がなく手ぶらで歩くのも大変でした。スクールバスの検討を進めていただきたいと思います。
岩田副参事	今回は、あくまで課題箇所の確認ということで進め、通学方法については、次回以降改めてご意見いただきたいと思います。
議長	時間が迫ってきましたので、次の議題に入りたいと思います。いろいろな論点が出ました。危険箇所を減らすことによって、安全安心で生活できるような環境になれば良いと思いましたので、今日あった意見を参考にし、引き続き市で協議検討していただき、その進捗状況を会議で報告をいただきながら意見交換していくということでよろしいでしょうか。 《異議なし》
幡野議長	引き続き事務を進めていただきたいと思います。
幡野議長	30箇所以外に加えた方がいいなと思う箇所はありますでしょうか。

発 言 者	発 言 内 容
山崎委員	元加治駅付近の交差点ですが、変則的になっていて、全方向一時停止にはなっていますが、私も元加治駅に向かう時渡りづらいと感じます。上橋から来て、なかなか渡れません。ここも危険箇所に加えたら良いのではないかと思います。
議長	私も危険な交差点だと思いますので加えていただきたいと思います。
岩田副参事	30箇所にはありませんでしたが、危険な箇所と感じておりましたので、加えていきたいと思います。
議長	他に追加の箇所が出ないようなので、これで終わりにします。今後何かあれば隨時言っていただければと思います。安全対策について事務局から何かありますでしょうか。
岩田副参事	貴重なご意見ありがとうございました。新たな課題も含め安全に通学できるよう検討していきたいと思います。それぞれ担当する部署と連携して検討してまいります。市の基本的な考えは、現在の道路用地内で対応が可能なものは、調整がつき次第、順次施工していきたいと考えています。信号などの設置については、警察への調査依頼などが必要であるため、設置が可能なかの判断も含め、時間を要することが想定されます。また、歩道の拡幅や交差点の待機場所など新たに用地取得が必要となるものは、土地所有者のご理解をいただく交渉も含め時間を要しますので、長期的な対応となることも考えられます。このような実現困難なもの、時間を要するものについては、代替案も含め検討していきます。
議長	議題（２）「統合後の学校の名称について」とします。 内容について、事務局に説明を求めます。
岩田副参事	〈資料により説明〉
議長	統合後の学校の名称について説明がありました。事務局の説明についてご質問等ありますか。

発 言 者	発 言 内 容
	ないようでしたら、統合後の学校の名称につきましては、事務局の説明したとおり、進めていただくことでよろしいでしょうか。
佐竹委員	野田中学校の卒業生のことを考えると、野田の名前がなくなって良いのかと思っていますところ。例えば、西武と野田を両方入れるとか、西武も野田も両方生かした方が良いと思います。
岩田副参事	野田という地区の名が出ると、仏子、新光はどうなのかとなってしまいます。この統合は、西武に吸収された、野田に吸収されたというものではなく、新しい中学校を創ることです。野田中学校の子供たちにとっては、思い入れがある名前だと思います。名前については地区全体を示す名称としたいと考えています。協働して中学校を創る中で、在校生の気持ちも含めて創っていきたいと考えています。
倉根委員	この西武中という名称はいつから使う予定でしょうか。
岩田副参事	基本的には、令和7年の一時統合の段階からと考えています。
倉根委員	野田中としてはあと2年半で名前がなくなることになります。今年33年目で、卒業生も数千人いますので、そういう人たちの思いを考えると先ほどの話ではないですが、非常に残念です。統合ということですから、まとめていかなければならないので、なくなる面も確かにあるとは思いますが、西武中と良い部分を受け継ぎながらまとまっていけたらと考えています。
岩田副参事	事前交流によって、それぞれの学校自慢をし、双方の良さを示して新しい学校にその良さを引き継いでいけたらと考えております。
栗原委員	私は事務局案の文にひっかかっていまして、「通学区域を分ける前に戻り」とありますが、30年の歴史を飛ばして元に戻れるのかと、すごく役人の発想だと思います。新しいものを創ると聞き安心しましたが、ここだけ聞くとちょっと違います。人口について西武地区は2万人前後でそれほ

発 言 者	発 言 内 容
岩田副参事	ど変わっていないようですが、世帯数は増えていて建物も増えています。それに伴い通学路の危険度が増して平成2年の頃と全く違うと思っています。それと野田中の歴史が消えてしまうというのはおかしいと思います。単純に前に戻る、だから西武中だというのは違和感を感じます。ぜひ頭を使っていただいて、新しい名前を考えようという意気込みを見せてもらいたいと思います。新しいものを創るというのであれば、役所だけではなく、地域の人も含め考えていきたいと思っています。 学校は災害時の避難場所ともなります。わかりやすい名前であるべきかと考えます。野田中学校も西武中学校もこの名前で何十年も卒業生がいる学校です。先ほど申し上げたとおり、わかりやすい地区の名称を提案してもらいました。学校名は地区の名称ですが、双方の良いところを合わせて、中学校を創っていききたいと考えています。
栗原委員	避難を考えると令和7年から10年はかえってわかりづらくなります。古い西武中に避難することもあり得るのでわかりづらいと思います。
岩田副参事	防災担当と協議して避難に支障がないようにしていきます。
吉田委員	名称を決めるタイムリミットはいつになりますか。最終的には11年の新しい西武中ができた時に決まっていれば良いのではないのでしょうか。吸収されるなどの変な誤解を生みたくないのであれば、それまでは野田中のままで良いのではないのでしょうか。野田中の名前が西武中になることが吸収ととられたと思われる方が今よりも多くなると思います。もし、何年前に決まっていれば良いということがあれば、それまでに考えれば良いのではないのでしょうか
岩田副参事	期限は令和7年度と考えています。吸収されるとの認識が増えるのではとのご意見もありましたので、どこの時点で名前を変えるべきなのか預からせていただきたいと思います。

発 言 者	発 言 内 容
吉田委員	10月14日に保護者への説明会があると聞きました。この頃、保護者の方から学校名が変わることは決定と言われますが、統合委員会での議論も始まっていないのに違和感を感じました。説明会で学校名について話すのでしょうか。話すときには細心の注意を払い、噂が勝手に走ることをないようにしてもらいたいと思います。
岩田副参事	以前はPTAの役員を対象に説明会を開催しました。今回は、保護者説明会を10月7日に西武中と仏子小の保護者を対象として、14日は野田中と西武小の保護者を対象として実施します。各項目の細かい説明は予定していません。統合がどういう方針になったのかを説明します。
早川委員	令和11年度までは野田中でいいのではないかと意見が出たので参考までに西武中の生徒がどんな気持ちでいるのかを紹介します。生徒はこの件を知ってから心を痛めています。中には涙を流したり、家に帰って親に西武中がなくなるといってパニックになった子もいます。心を痛めています。西武中は人数が少ないので吸収合併されてしまうという感覚を持っています。西武中は人数が少ないので吸収合併されてしまうという感覚を持っています。地域の方も同じ感覚を持たれていると思います。子供たちは、吸収されてしまうという感覚を持っているので7年に一緒になったとき、名前も野田中で西武中の子が野田中に行くということ子供たちの心情を考えると私は校長として心が痛すぎます。野田地区の方の気持ちもわかるので早急に結論を出さずに話し合いをしても良いのではないかと思います。子供の気持ちを汲んでももらいたいと思います。
岩田副参事	子供の気持ちを大切に進めていきたいと思っています。皆様からご助言いただいて子供たちが「これはいやだな」と思うことがないよう、友達が増えて良かったと思えるようなものを創り上げたいと考えていますので、新しい中学校を創るためにご助言いただきたいと思います。
永田委員	どういふ名前が良いのか自分の中で考え、西武野田中学校という名前がはじめはいいのではと思っていましたが、あの場所で「野田」とつくのに

発 言 者	発 言 内 容
岩田副参事	違和感があると思ったり、小学校も統合されます。その際、小学校と中学校の名前が、大体同じ地区にある学校は同じ名前が使われていると思いますが、そういうことも考えて、名前を付けたいと考えます。 西武中の方の思い、野田中の方の思い、色々あるかと思います。事務局としては、子供たちの気持ちを汲んだうえで、偏りのない西武中学校という名前を提案させていただきましたが、いろいろなご意見を聴きながら、また、先ほどの期限というものも考えながら進めていきたいと思っています。 学校名については、条例改正となるので、教育委員会を経て、議会案件となりますのでご承知おきください。
議長	各委員からご意見をいただきました。子供の気持ちだとか、野田中の歴史、吸収合併されるとの心配等確認しながら進めていっていただきたい。
幡野議長	議題（３）「その他」とします。 その他、皆様から何かありますでしょうか。
永田委員	仏子小学校保護者の方と話す機会があって、その方がおっしゃっていたのが、今の６年生が野田中に行く時には、野田中の敷地の中にプレハブを建てて、そこに西武中だけ来て、場所を借りる形になると聞きました。初耳だったので確認したいと思います。
岩田副参事	そういったことは一切ありません。先ほど申し上げたとおり、この統合は、２つの中学校がともに新しい中学校を創るという形になります。特別教室が校舎内に収まらず、プレハブを建てることはありますが、西武中学校の生徒だけがプレハブに入るといったことはありません。２校の生徒がともに新しいクラスを創ることになると考えています。誤った情報が流れないように保護者の説明会を行います。

発 言 者	発 言 内 容
議長	他にありますか。 ないようですので、これで本日の議題はすべて終了しました。 これにて議長の任を解かせていただきます。
司会	その他 事務局より、次回の委員会日程について連絡します。次回委員会は、1 1月17日（木）19時より、西武公民館にて開催します。
横田副委員長	閉会 (横田副委員長よりあいさつ)

議事のとん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和4年10月31日

議 長 の 署 名

幡野 敏彦

議長が指名した者の署名

前 川 泰